

中西進 高志の国文学館館長講演会の開催について

大伴家持並びに越中万葉の魅力とともに、富山米新品種「富富富」(ふふふ)をはじめとする食文化など、本県の魅力を首都圏から全国に向けて発信するため、標記講演会を次のとおり開催しますので、ご案内します。

1 日 時

令和元年10月14日(月・祝) <開場 12:30 開演 13:30 終了 15:00(予定)>

2 場 所

大手町サンケイプラザ(東京都千代田区大手町1-7-2)

3 開催趣旨

現存する日本最古の歌集『万葉集』。その編纂に深く関わったとされる大伴家持は、越中国守として赴任した5年間に、越中に関わる223首もの秀歌を『万葉集』に残しています。

また、新元号「令和」は『万葉集』を典拠としており、元号が国書から典拠されたのは初めてのことであり『万葉集』は大きな注目を浴びています。

県では、この機会を捉え、県のふるさと文学の先人である大伴家持・越中万葉の魅力とともに、富山米新品種「富富富」(ふふふ)をはじめとする食文化など、本県の魅力を首都圏から全国に向けて発信するため、このたび、下記のとおり、中西進 高志の国文学館館長の講演会を開催するものです。

4 内 容

- (1) 富山県の文化施策等の紹介 石井 隆一(富山県知事)
(2) 講演「天に祈る家持」 中西 進(高志の国文学館館長・国文学者)

5 定 員

600名/入場無料

(応募〆切期限10月7日(月))